

【司 会】

それではただいまより閉会行事の方に移りたいと思います。長い時間、お疲れさまでした。閉会のご挨拶を、本学の学校危機メンタルサポートセンター センター長の秋葉英則よりご挨拶させていただきます。

閉会挨拶

秋葉英則（大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター長）

【秋 葉】

お集まりの皆さん、朝早くから先程まで今回のフォーラムの成功のためにご尽力いただきましたこと、深く感謝申し上げます。有り難うございました。午前中、厚生労働省の山本先生の基調講演をいただきました。午後はフォーラムで色々なお立場からご発言を頂戴致しました。私自身、大変勉強させていただきました。振り返ってみますと午前中冒頭、兵庫県の副知事さんのご挨拶、尼崎の市長さんのご挨拶、そして山本先生の基調講演、午後のフォーラム、いずれもお立場の違いを越えて本日のフォーラムの成功を記しましたキーワードが2つあると思っております。1つは地域でございます。もう1つはボランティアという、この2つの言葉、つまりこれが本日のフォーラムの成功を導いたキーワードだと思っております。考えてみますと、ボランティアというのはラテン語でボランティエロと申しますが、我が国ではボランティアという言葉の訳が奉仕というふうに一般に訳させていますけれど、そもそも語源は集落という意味でございます。人がより集まって暮らしを営むと、互いに当てにし当てにされるという関係が人間の営みの本質であるというのがボランティアの言葉の語源であります。従いまして、地域とボランティア、2つのキーワードだと申しましたけれども、実は共通項は1つでございます、地域でございます。考えてみますと学校危機、これを未然に防ぎ、子ども達の未来に責任のある営みをするためには、地域に根付くということ。極めて当たり前のことでございます。本日のフォーラムの成功が最も当たり前のことを発見致しました。この当たり前のことを当たり前に現実化していくために、ある先生は申されました。コーディネーターがいると申されました。お世話役がいるとお話もございました。私は最後に、私自身が好きな言葉ですけれども、新しいことをごくごく自然に立ち上げるためには、仲人がいるのではないかというふうに思っております。どうぞご参会の皆さん、1日のお疲れで本当にご苦勞をおかけしましたけれども、帰り道、自分が住んでいる地域で、自分がどんなお仲人ができるか考え合っていたいただきたいと思います。子ども達のために仲人をしようではありませんか。来年また、このフォーラムを企画させていただきたいと思っております。新たな仲人を発見致しましょう。長いこと本当に有り難うございました。これにて閉会と致します。

【司 会】

本日もご参会の皆様には、長い時間有り難うございました。運営にご協力いただきまして有り難うございました。お帰りの際にはアンケートを是非、入口のところで出させていただきますようよろしくお願い致します。どうぞお気を付けてお帰りいただきますように、これにて閉会致します。